

会報

大会報告

平成 29 年度中部哲学会・研究大会ならびに総会は、9 月 16 日（土）岐阜大学を開催校として同大学地域科学部棟において開催され、参加者 45 名で盛会裏に終了いたしました。なお、大会ならびに総会の議事は次のとおりです。

◇大会プログラム

○個人研究発表

- 1) 伊藤俊（名古屋大学）「ロボットに心があるように人間が感じることを利用してもよいか」
- 2) 福原慶子（名古屋大学）「「フィクション」概念によってバーチャルリアリティの実質的現実と仮想的現実を区別する」
- 3) 村中達矢（金沢大学）「フックウェイのアクシオン論」
- 4) 渡辺亮（名古屋大学）「メルロ＝ポンティにおける上・下という方向性について——カミュの『転落』を手がかりに——」
- 5) 川里卓（名古屋大学）「ベルクソンにおける「笑い」と「自由」——生命の概念を通じて——」
- 6) 加藤恒男「なぜ、いま教育勅語なのか——哲学の責任」
- 7) 鬼頭孝佳（名古屋大学）「カール・シュミットの喪われた平和論」
- 8) 谷口茂（南山国際高校・中学校）「優生と個性—普遍と個；個がかげがえのないものとされる理由—」
- 9) 大林侑平（名古屋大学）「準因果としての形式的合目的性」
- 10) 山田滯（名古屋大学）「『ゴルギアス』のカリクレスと『国家』のトラシュマコス」
- 11) 辻春香（名古屋大学）「ディルタイの世界観学における歴史的被拘束性」

○シンポジウム「「平等」の限界と可能性 — グローバル社会における差別の問題を踏まえて」

- 1) 竹内章郎（岐阜大学）「優生思想的差別を含む能力による差別を廃棄しうる平等思想を中心に」
- 2) ジョン・ゴードン・ラッセル（岐阜大学）「イミテーション・ゲーム — レイチェル・ドレザル、「トランスレイシャル」/「トランスジェンダー」の真正性と人種差別の問題」
- 3) 三浦隆宏（相山女学園大学）「暗がりのなかの差別、薄明かりのままの平等——アーレント政治理論は平等と差別について何が言えるか」

司会：松井貴英（九州国際大学）

◇総会議事

（議長 名古屋大学・宮原勇）

- 1) 一般報告 この 1 年間の会員移動について、入会者 2 名、退会者 5 名、現在の会員数は 168 名であることが報告された。
- 2) 来年度の開催校について 南山大学を開催校とし、2018 年 9 月 28 日（土）に同大学にて大会・総会が開催されることが提案され、承認された。
- 3) 委員の交代について 詳細は下記の役員名簿をご覧ください。

会員異動

◇平成 29 年度の新入会員の方々は次のとおりです。

- 鬼頭孝佳
- 山田滯

◇平成 28 年度の退会者は以下の方々です。

- 浜渦辰二
- 土屋純一
- 佐藤芳
- 中野清
- 森下直貴

2016 年度中部哲学会役員

(任期：2015 年 4 月 1 日～2017 年 3 月 31 日)

委員長：宮原勇（名古屋大学）

委員：永井龍男（富山大学・富山）、奥田太郎（南山大学・愛知）、篠原成彦（信州大学・長野）、吉田寛（静岡大学・静岡）、秋元ひろと（三重大学・三重）、柴田和宏（岐阜大学・岐阜）、三浦要（金沢大学・石川）

総務委員：久木田水生（名古屋大学）

会計委員：北野孝志（豊田工業高等専門学校・）

出版委員：松井貴英（九州国際大学）
奥田太郎（南山大学）

会計監査：別所良美（名古屋市立大学）
瀬口昌久（名古屋工業大学）

編集委員（アイウエオ順）

委員長：宮原勇

委員：秋元ひろと、奥田太郎、北野孝志、久木田水生、柴田和宏、篠原成彦、永井龍男、松井貴英、三浦要、吉田寛

中部哲学会年報 第 50 号

2019 年 7 月 20 日発行

◎発行者 中部哲学会
(代表者 宮原勇)

◎編集(出版委員)

〒464-8673 名古屋市昭和区山里町
18 南山大学社会倫理研究所
奥田太郎

Tel052-837-3111

◎郵便振替 00860-2-38397

◎印刷所 名古屋大学消費生活協同
組合印刷部